

名古屋大学の知を高校生に 学びの杜・学術コース

2018

主催：名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター

高校生対象
受講料無料



—学問の世界を知り、創造的な学びの力を育む—

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心として、学問研究の最前線で活躍する研究者たちが、高校生の皆さんを対象に、それぞれの学問領域における知の探究の成果や方法、スタイルなどについて、わかりやすく解説し、知の探求の楽しさと厳しさを体験してもらおうという目的で開設された本格的な「学術的な探究講座」です。

大学レベルの高度な「学び」を体験することにより、高校生の皆さんが、各自の適性について、また興味や関心について育み、将来のヴィジョンを広げたり、キャリア・デザインの形成へと発展できるように企画されています。ぜひ、ご参加ください。

生命科学探究講座

生物多様性からみた生命および、生命を支えるしくみについて学び、生物の進化と多様性を、様々な角度から考えます。

物理学探究講座

今日、科学的に広く受け入れられている宇宙の誕生と進化について学びます。

地球市民学探究講座

グローバル化がもたらす様々な問題について学び、異文化理解の方法、地球市民としてのあり方を考えます。

インフラ工学探究講座

インフラの役割と今ある問題、防災・減災対策について学び、安心・安全な生活とインフラ工学の関係を考えます。

コンピュータ・電子工学探究講座

電子回路の製作演習と簡単なプログラミングを通して、その先にあるデータサイエンティストへの道について紹介します。

チーム医療(多職種連携医療)探究講座

少子化・超高齢化時代を迎える日本に必要な「チーム医療(多職種連携医療)」について学び、「住民が地域社会で幸せに暮らせる社会」を考えます。

人文学探究講座

世界各地の文化や社会、あるいはその歴史を通して、人間の営みについて考えます。

視覚文化探究講座

写真、絵などの視覚情報について学び、そこでどのような思考ができ、役立つのかを、講義とワークショップを通して考えます。

人間発達科学探究講座

人間の発達・学習・社会化など「人間形成」に関わるさまざまな問題を、各コースの先生と一緒に考えます。

受講申し込みについて

申し込みは、①受講希望講座名(生命科学探究講座、地球市民学探究講座、人文学探究講座、視覚文化探究講座は受講希望回、人間発達科学探究講座はコース名を明記) ②学校名 ③学年 ④氏名(ふりがな) ⑤住所 ⑥自宅電話番号 ⑦当日連絡可能な携帯電話等の電話番号を明記し、下記のメールアドレスへお願いします。

⑧申し込みは取りまとめず、参加者が直接申し込み下さい。⑨申し込みは先着順に受け付けます。定員に達しましたら、締め切り前に受け付けを終了します。すでに定員に達した講座に申し込みをいただいた場合は、折り返しその旨を連絡します。⑩申し込み方法は「2018年度学びの杜・学術コース」のWEBページにも掲載しています。右下のQRコードからアクセスしてご覧下さい。⑪申し込み確認や会場案内等はメールで行いますので、必ず下記のメールアドレスから受信出来るようにしておいて下さい。⑫申し込み締め切りに関わなかった場合でも、定員に達していなければ受け付けられる場合がありますので、下記メールアドレスまでお問い合わせ下さい。

(申し込み・問い合わせ先)

〒464-8601 名古屋市中千種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター

chet@educa.nagoya-u.ac.jp (なお、高大接続研究センターの「2018年度学びの杜・学術コース」のWEBページからも「受講申し込みメール」を送ることができます)



視覚文化探究講座

定員：25名

申し込み締め切り：7月31日(火)

会場：名古屋大学情報学部SISスタジオ

現代は、視覚文化の時代です。写真、映像、アニメ、ゲーム、TV、インターネット、SNSと、とんでもない量の情報が、ひっきりなしに目に飛び込んできます。私たちは、それらを日々受信し、理解し、そして発信しながら生活しています。この講座では、視覚情報について知り、ヴィジュアル(視覚)を通してどのような思考ができ、また役に立つのか、講義とワークショップを通して体験し、考えていく機会を提供します。

1	8月8日(水) 10:00-12:00	見て、比べて、発見しよう 遠藤麻里(広島国際学院大学情報化学部デザイン学科/電子社会デザイン)	いつも見ている風景は、かつてはどうだったでしょうか？写真と実際の風景を見比べて、どう変わったのか、良くなったのか悪くなったのか、そしてそれは何故なのかを考えるワークショップです。いつもの風景の中に新しい何かを発見しましょう。
2	8月8日(水) 13:00-15:30	データにヴィジュアルをつけよう 定國伸吾(静岡理科大学情報学部コンピュータシステム学科/ユーザーインターフェイス)	私たちは、生活空間に溢れる各種の情報機器を通じて、さまざまな情報を目にしています。これらの情報の多くは生のデータではなく、用途に応じてヴィジュアル化されています。このワークショップでは、データにヴィジュアルをつける体験をし、身の回りのヴィジュアルの意味について考えます。
3	8月9日(木) 10:00-12:00	絵を描いてみんなで絵で考えよう！ 鈴木宣也(情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科/インタラクティブデザイン・ヴィジュアルリテラシー)	みなさんは言葉だけで考えていませんか？また、絵を描くのもじっくり考えすぎいませんか？絵を描いて考えると、自分の考えの整理に役立ったり、他の人と一緒に考えたりできるようになります。ヴィジュアル(視覚)で考えることを試してみましょう。
4	8月9日(木) 13:00-15:30	写真文化を学ぶ、スマホで人を撮る 茂登山清文(名古屋芸術大学芸術学部芸術学科/視覚文化・ヴィジュアルリテラシー)	スマホは思っている以上に写真撮影にも使えます。200年にならうとする写真の文化を、人を撮るという視点から学び、発表してやっと10年で私たちのなくてはならないツールとなったスマホで人を撮ってみましょう。